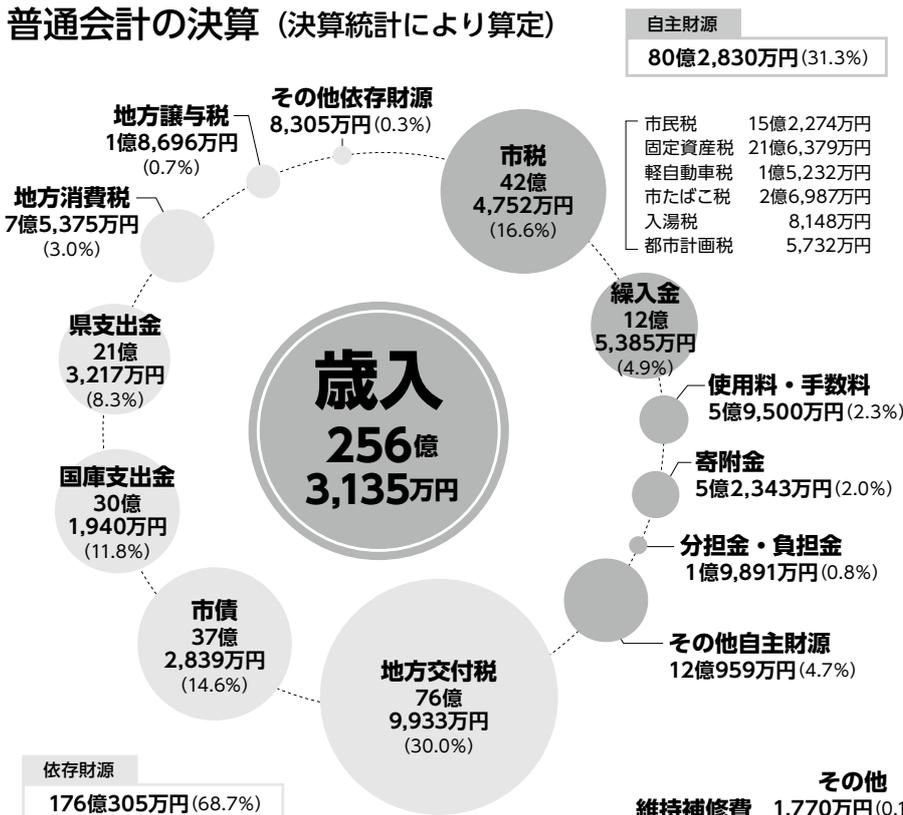


平成29年度 決算状況を報告します

平成29年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算が、市議会12月定例会で認定されました。決算統計で算定した普通会計は、歳入が256億3,135万円（前年度比1.4%増）、歳出が246億7,812万円（前年度比2.7%増）で、差し引き9億5,323万円（黒字）。これから、次年度繰越額を差し引いた実質収支は、8億3,168万円（黒字）でした。

普通会計の決算（決算統計により算定）



歳入の状況

主な減少要因

普通交付税などの減少により、地方交付税が2億2,771万円減少。小学校体育館の耐震大規模改修の一部終了などで、過疎対策事業債が5億7,060万円減少。

主な増加要因

ふれあいプラザなのはな館の改修事業などで、県支出金が5億2,557万円増加。指宿庁舎・指宿総合体育館大規模改修事業で、合併特例債が3億5,228万円増加、緊急防災減災事業債が2億2,370万円増加。

※いずれも前年度比

歳出の状況

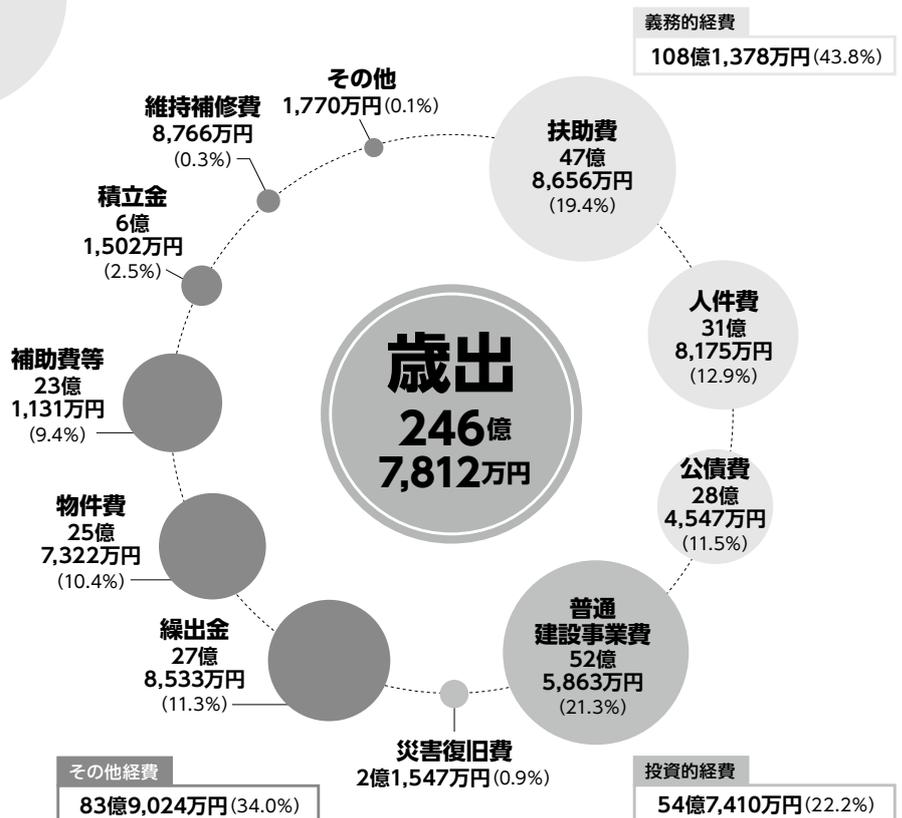
主な減少要因

職員数削減や共済費の標準報酬制移行で、人件費が1億4,787万円減少。保育所緊急整備事業などの普通建設事業費（補助事業）が、7億1,947万円減少。

主な増加要因

なのはな館改修事業、指宿庁舎・指宿総合体育館大規模改修事業などの普通建設事業費（単独事業）が、19億4,993万円増加。

※いずれも前年度比



各会計決算の比較

市の会計には、一般会計のほか6つの特別会計と公営企業（水道事業）会計があります。保険料や使用料など、特定の収入があり使い道が決まっているものは、収支を明確にするため一般会計と分け、特別会計としています。

国民健康保険特別会計は、平成25年度を除いて、22年度から27年度まで赤字決算が続いていましたが、28年度から黒字決算となっており、29年度もすべての会計で黒字決算となりました。

区 分	歳入 (A)	歳出 (B)	差引 (A-B)	歳出の前年度比	
一 般 会 計	256億5,709万円	247億 386万円	9億5,323万円	2.7%	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	83億1,917万円	79億9,200万円	3億2,717万円	-6.7%
	後 期 高 齢 者 医 療	6億4,045万円	6億3,683万円	362万円	1.6%
	介 護 保 険	49億8,480万円	48億6,765万円	1億1,715万円	6.8%
	温 泉 配 給 事 業	4,384万円	4,163万円	221万円	8.7%
	唐船峡そうめん流し事業	2億6,776万円	2億5,644万円	1,132万円	14.1%
	公 共 下 水 道 事 業	13億7,550万円	13億4,741万円	2,809万円	19.3%
小 計	156億3,152万円	151億4,196万円	4億8,956万円	0.0%	
水道事業会計（収益的収支）	7億5,330万円	6億3,749万円	1億1,581万円	-3.8%	
合 計	420億4,191万円	404億8,331万円	15億5,860万円	1.5%	

主な実施事業と決算額

住環境の整備

ごみ処理事業	1億4,397万円
住宅リフォーム助成事業	768万円

住みやすい町なみ整備

道路新設改良事業	7億9,108万円
十町・湊土地区画整理事業	7億6,200万円

市民の安全・安心

川尻分団ポンプ自動車更新	2,002万円
交通安全施設整備事業	1,034万円
防災行政無線同報系難聴地域対策整備事業	2,905万円

健康・福祉・子育て推進

健幸ポイントプロジェクト推進事業	1,361万円
子ども医療費助成事業	1億2,199万円

教育環境の充実

学校施設耐震化・大規模改修事業	5,015万円
指宿総合体育館大規模改修事業	11億5,934万円

地域活性化と産業振興

共生・協働推進事業	2,537万円
建築物耐震化促進事業	665万円
西郷どん観光誘客事業	4,994万円

主な財政指数

区 分	平成29年度(A)	平成28年度(B)	増減(A-B)
財 政 力 指 数	0.38	0.38	0.0
経 常 収 支 比 率	91.4%	89.7%	1.7%
実 質 公 債 費 比 率	8.8%	8.3%	0.5%
将 来 負 担 比 率	35.0%	36.1%	-1.1%
財政調整基金積立金	23億5,256万円	26億1,182万円	-2億5,926万円
地 方 債 残 高	258億5,828万円	247億9,760万円	10億6,068万円

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、黒字のため計上していません。

- ・**財政力指数**…地方公共団体の財政力を示す指数。数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いとされる。
- ・**経常収支比率**…経常的一般財源に対する、固定的経費の割合。財政運営の弾力性を示し、高いほど硬直化しているとされる。
- ・**実質公債費比率**…一般会計の公債費に、特別会計などの公債費に充てる繰出金などを加えた、実質的な公債費の割合。
- ・**将来負担比率**…地方債残高や債務負担行為に基づく支出予定額など、将来負担する実質的な負債の割合。
- ・**財政調整基金**…災害での突発的な支出や、緊急性の高い建設事業経費などに充てるための貯金。
- ・**地方債**…地方公共団体が、財源確保のため国や民間の金融機関から借り入れる長期借入金。

本市の財政状況と今後の見通し

財政健全化や民間委託などの推進、職員の定員管理の適正化、組織機構の見直しなどで歳出を抑制し、有利な国・県補助事業の導入で基金残高が増加するなど、合併当初と比べ改善しています。しかし、市債を活用した生活インフラの整備などにより、近年は市債（借金）が増え、財政調整基金（貯金）は減っている状況です。

今後、歳入では、合併算定替えの終了による普通交付税の減額や、生産年齢人口の減少による市税の減少が予想されます。歳出では、サッカー・多目的グラウンド整備、国体開催に向けた体育施設整備、指宿港海岸整備や老朽化した公共施設への対策、社会保障関係費など扶助費の増加で、さらに財源が必要になると予想されるため、事業の緊急度・優先度・市民ニーズなどを勘案し、ほかの事業とのバランスを考慮しながら予算を編成していきます。

関 財政課 財政係 内 141